

環太平洋地域の 移動と人種

田辺明生 竹沢泰子 成田龍一 編
京都大学学術出版会

出版記念シンポジウム・合評会



出版記念シンポジウムでは
執筆者全員が各章の調査・執筆の過程や、
その魅力を語ります。
合評会もご期待ください。

当日購入申込者は
2割引

申込不要

in KYOTO

出版記念シンポジウム

2020年1月12日[日] 14:00▶17:00
[13:30開場]

会場／キャンパスプラザ京都 2階 第3会義室

in TOKYO

合評会 評者／飯島真里子・貴堂嘉之・津田浩司

2020年3月9日[月] 14:00▶17:00
[13:30開場]

会場／新丸の内ビルディング 10階
京都アカデミアフォーラム in 丸の内



お問い合わせ 京都大学人文科学研究所 総務掛 TEL: 075-753-6902 (平日9:00~17:00)
<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp>

主催：京都大学人文科学研究所 / 科学研究費基盤研究 (S)「人種化のプロセスとメカニズムに関する複合的研究」



環太平洋地域の

移動と人種

統治から管理へ、遭遇から連帯へ

目次

序 論 (成田龍一・田辺明生・竹沢泰子)

I 拡大する帝国・国民国家の時代

第1章 遭遇としての植民地主義——北海道開拓における人種化と労働力の問題をめぐって(平野克弥)

第2章 植民地統治と「カテゴリー」——植民地期シンガポールでの治安秩序維持を事例として(鬼丸武士)

II マイノリティたちの遭遇・共感・連帯

第3章 アメリカに渡った被差別部落民——太平洋を巡る「人種化」と「つながり」の歴史経験(関口寛)

第4章 排日から排墨へ——一九二〇年代カリフォルニア州における人種化経験の連鎖(徳永悠)

III 政治実践としての記憶と表象

第5章 博物館におけるマイノリティ表象の可能性——差別と人権の政治学(吉村智博)

第6章 日系アメリカ人の原爆批評——戦争の記憶と一九九五年のエノラ・ゲイ展(内野クリスタル)

第7章 一九九二年ロスアンジェルス蜂起をめぐる表象の政治——『薄明かり——ロスアンジェルス、1992』と記憶の重層性(土屋和代)

IV グローバル化時代の管理と抵抗

第8章 巡礼する人種主義のためのノート(成田龍一)

第9章 ヴァーチャル化する「人種」——現代インドにおけるデータガバナンスと人種化(田辺明生)

第10章 「ほどく」「つなぐ」が生み出すマイナー・トランスナショナルリズム——井上葉子とジーン・シンの作品と語りから(竹沢泰子)

あとがき

索引



キャンパスプラザ京都 2階 第3会義室

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る
TEL: 075-353-9111

京都市営地下鉄烏丸線・近鉄京都線・JR各線「京都駅」下車 徒歩5分



京都会場

出版記念シンポジウム

2020年1月12日(日曜日)

14:00-17:00 [13:30開場]

東京会場

合評会

2020年3月9日(月曜日)

14:00-17:00 [13:30開場]

新丸の内ビルディング10階

京都アカデミアフォーラム in 丸の内
Kyoto Academia Forum in Marunouchi

〒100-6510 東京都千代田区丸の内1-5-1

TEL: 03-5252-7072 FAX: 03-5252-0136

